

薬害ヤコブ病問題

2001国際シンポジウム

11月11日(日) 10時～17時 (9:30 開場)

参加費：500円。資料代：500円



場所：一橋大学(国立市) 東キャンパス2号館2201番教室(JR中央線 国立駅下車、徒歩7分)

「薬害ヤコブ病」問題は、7月に大津・東京両地裁で訴訟の審理が終結し、和解勧告がなされました。早期全面解決のためには、力の結集が不可欠です。

また、ヤコブ病患者・家族・遺族の心理面も含めた「ケア体制の確立」も強く求められています。そこで、外国の経験を学びながら、対策を検討します。

なお、日本にも狂牛病(BSE)が発生したことから、特別報告を予定しています。

薬害問題の解決にあなたの力をお貸し下さい。みなさんの参加をお待ちしています。

英国のCJD問題取り組みの教訓(通訳が付きます)

英国におけるヤコブ病患者の闘いと勝利

パトリック・N・ボールドウィン(汚染成長ホルモン剤の被害児の父親)

英国その他におけるCJD・BSE問題

ハラシュ・ナーラン(CJD研究者)

ヤコブ病患者・家族の支援ネットワークの発展と活動

ジリアン・ターナー(ケア・ワーカー)

日本におけるCJD問題取り組みのあり方

薬害ヤコブ訴訟解決のための要求と展望 大津訴訟・東京訴訟の原告団・弁護団代表

日本におけるCJD患者・家族のケア・恒久対策のあり方

上田 宗(医師・大津訴訟原告) 松山順子(東洋大学大学院)

[特別報告] 狂牛病問題

小野寺 節(東京大学大学院 農学生命科学研究科教授)

主催：薬害ヤコブ病問題 '01 国際シンポジウム実行委員会(牧野忠康委員長)

日本科学者会議東京支部第11回東京科学シンポジウム実行委員会(米田貢委員長)



事務局連絡先：〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-29-3

外苑企画商事(担当者：藤竿) FAX：03-3402-1694

詳しくは、外苑企画商事のホームページで

(<http://www.ne.jp/asahi/gaiki/di/>)

協賛金募集中

団体1口：5,000円、個人1口：1,000円から

郵便貯金：10170-47065221 「薬害ヤコブ病
国際シンポ実行委員会」

あさひ銀行神田支店 普通 1353930 「CJD
研究会 代表 片平洸彦」(かたひらきよひこ)